

「統合高級課程に入校して」

第33期統合高級課程 1等空佐 高木 亮

はじめに、筆者について簡単に自己紹介します。

私は、平成15年、防衛大学校を卒業し航空自衛隊に入隊しました。幹部任官後は、石川県の小松基地において、主にF-15戦闘機パイロットして、各種訓練を重ね、対領空侵犯措置任務や防空のための技量の獲得、維持向上、後輩育成に努めました。指揮幕僚課程修了後は、市ヶ谷の航空幕僚監部及び統合幕僚監部にそれぞれ2年間ずつ勤務し、主として 防衛協力・交流や防衛大綱・中期防衛力整備計画に係る業務を担当しました。その後、沖縄県の那覇基地において、F-15部隊の飛行隊長として部隊を率い、活発化する中国軍機等の活動に対し、南西域の領空の護りに従事しました。

令和4年3月、目黒にある航空自衛隊幹部学校に幹部高級課程学生として入校、10月からは、同地にある統合幕僚学校において、統合高級課程学生として学んでいます。

1 自己紹介

- 階級氏名：1等空佐 高木 亮
- 期別：統一期03B（防大47期）、昭和55年生まれ
- 職種：操縦（F-15、T-4）
- 経歴：18.11 第6航空団303飛行隊（小松）
25.8 陸自59期指揮幕僚課程（目黒）
27.8 空幕防衛部防衛課防衛班（市ヶ谷）
29.8 統幕防衛計画部計画課統合防衛戦略室（市ヶ谷）
R1.8 第5航空団防衛班長（新田原）
R2.1 第9航空団304飛行隊長（那覇）
R4.3 81期幹部高級課程、33期統合高級課程（目黒）

2 課程教育に関する雑感

本課程は、各自衛隊の高級幹部が集い、著名な講師による講義、安全保障戦略や統合運用のためのグループ研究、自衛隊や米軍の部隊研修や海外研修等により、幅広い視野と高い識見が得られるとともに、陸・海・空の垣根を超えた人脈形成ができる点で有益な課程であると思います。

平素の部隊や司令部勤務では、自己の業務に追われ、自衛隊内の限られた世界における担当正面の業務や部下指導に偏重してしまう傾向が強いため、そのような環境から身を離して、自己の能力向上のために集中的に取り組めることは大変貴重な期間であると思います。

また、様々な経験を積んだ同期生の話を聞けたり、議論したりすることができるのは、非常に新鮮であるし刺激的であるとともに、自分の未熟さを痛感させられます。

軍事面だけでなく様々な分野の専門家の知見等を得ることができ、大局的な視点により物事を捉えるという点で、視野を広げられる有意義な課程だと感じます。

本課程での経験や人脈は間違いなく統合運用に寄与するものであり、可能な限り多くの幹部自衛官が本課程に入校することをお勧めしたいと思います。

3 課程教育を通じ自身が得たもの、成長した事項

○ 戦略的思考

国益を考えた上で、軍事面だけでなく、政治、外交、経済、情報、社会、技術といった他分野を含め、学生や教官の様々な意見を聞きながら、総合的に考察することを通じて、戦略的な思考能力が課程履修前よりも向上できたと思います。

○ 国際情勢、国内情勢認識

研究を通じて、現在や将来の国際的な情勢に関する様々な資料等を調べることで、今後の技術的動向や国際的なトレンドを把握することができたと思います。併せて、日本の強みや弱みを分析することで、我が国の特性をより理解することができました。本課程により、軍事面だけでなく他の分野における国際的・国内的情勢に関心を持つようになりました。

○ 戦史戦訓の知識

もともと戦史についての知識が浅く、苦手意識を持っていましたが、講義や戦史に関する資料等を読む機会が得られ、戦史戦訓に関する知識は増えたと思います。数多くの有識者が「歴史に学ぶ」ことを薦められており、また、それを痛感したことから、今後も継続して知識の拡充に努めていきたいと思っています。

○ 体力

通勤時や課業外の時間を活用し、ランニングや筋力トレーニングを継続的に行うことができ、体力の向上や心身の健康を維持することができたと思います。今後の勤務を含め、体力や心身の健康は全ての活動の起点であるますし、老化は免れないため、なるべく継続していきたいと思っています。

4 修業後の抱負

課程卒業後の配置先は未定ですが、本課程履修者は空幕等の重要なポストに配置されていることがほとんどですので、いずれにしても配置先で与えられた業務を適切に遂行し、空自のため、統合のため、ひいては国のために尽力したいと思っています。その際は、本課程で得た知見等を活かし、目の前の業務だけ

でなく大局的な視点を持ち、上司、部下、同僚とともに、馴れ合いや悪しき慣習に流されることなく、「何を成すべきか」を見失わずに勤務にまい進したいと思っています。

5 写真



【筆者前任地 Last Flight】



【朝霞（陸上総隊）研修】



【横須賀（自衛艦隊）研修】